

おやま 小山地区民有林直轄治山事業

当地区は、静岡県北東部（小山町）に位置。富士山の火山噴出物であるスコリアが厚く堆積し、土壌の固結度が弱く侵食されやすい地質のため、豪雨時等に山地災害が発生しやすい特徴。平成22年9月の台風第9号に伴う集中豪雨では、大規模な崩壊地が多数発生し、大量のスコリア土砂が流出、甚大な被害が発生。平成23、24年の台風及び集中豪雨等により崩壊地が著しく拡大。

当地区の荒廃地の復旧対策は、規模が著しく大きくスコリア土壌の特性を踏まえた高度な技術を必要とすることから、静岡県等の要望を受けて、平成27年度より民有林直轄治山事業に着手。

荒廃状況



平成22年9月の台風第9号に伴う小山町内の様子

荒廃状況
北郷地区(角取山工区)

角取山工区 崩壊状況

【予算措置状況】

R7当初予算	:	620百万円
R7補正予算	:	329百万円
R8当初予算	:	647百万円

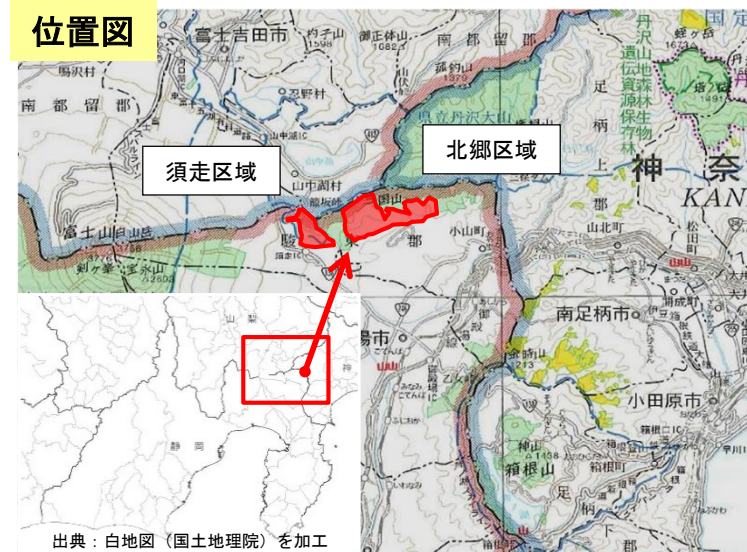
【主要工事計画】

山腹工	2.04ha
溪間工	3基

【主な保全対象】

人家	198 戸
事業所等	30 箇所
国県道	4.5 km
市町村道	15.0 km

位置図



出典：白地図（国土地理院）を加工

復旧状況

